

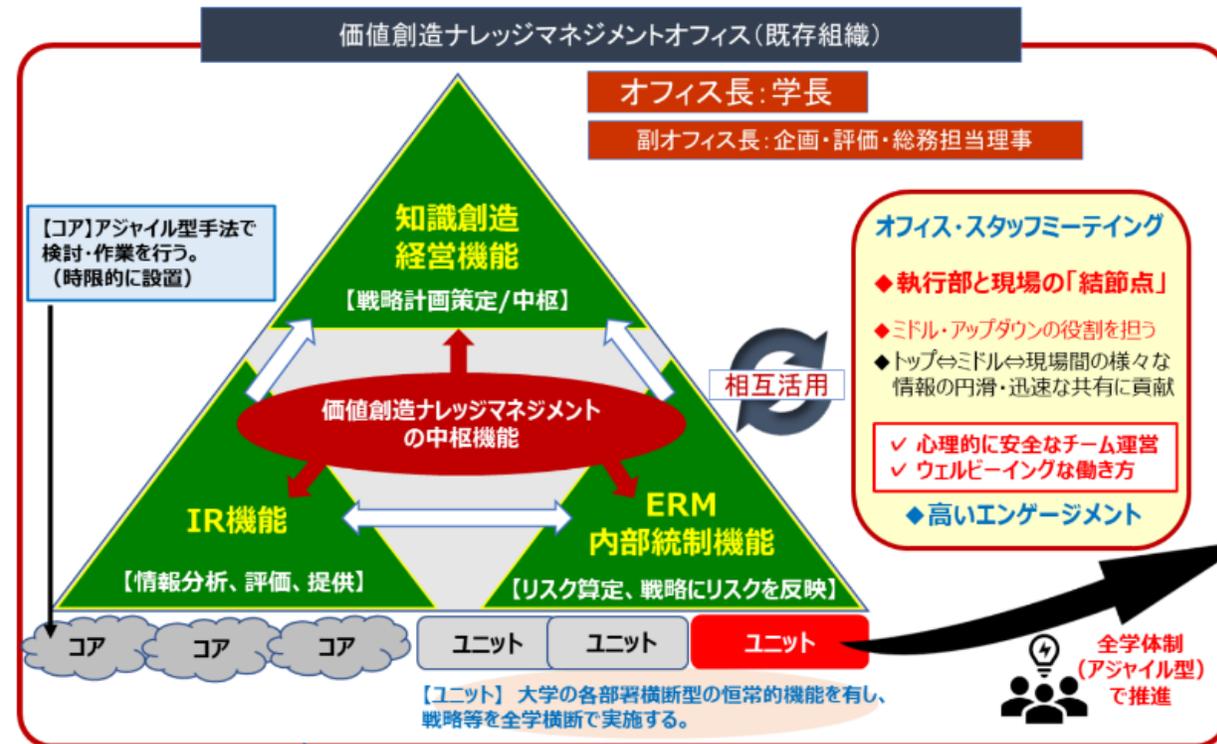
# OA加速化から次なる飛躍へ： 価値創造に向けた岡山大学の取り組み

岡山大学附属図書館

# 実施体制

- 学長直下の組織である「価値創造ナレッジマネジメントオフィス」に全学的マネジメントによるアジャイルな学術成果発信体制を構築
- 「ユニット」と事務部等が有機的に連携したハイブリッドな組織運営

(教員、URA、附属図書館、情報統括センター、研究・イノベーション共創機構、財務部、総務・企画部)



## 新設！ オープンアクセス推進ユニット

- 全学的なオープンアクセス支援策（APC支援等）の検討・実施
- オープンアクセス基盤(機関リポジトリ、関連システム、ストレージ等)の運用管理
- オープンアクセス推進のための各種調査、広報活動
- 研究データ管理支援

# 全体計画と2024年度の中間報告（1）

全体計画	2024年度の実施内容
価値創造ナレッジマネジメントオフィス 「オープンアクセス推進ユニット」による運営体制の整備	設置に向けて2024年10月に関係者による検討を始めた
インフラ面の強化 <ul style="list-style-type: none"><li>機関リポジトリの高度化</li><li>学内外のデータベースと連携</li><li>論文とデータの公開を見据えたりポジトリストレージ強化</li></ul>	機能開発を委託して開発中。 研究者が論文・研究データを本学の機関リポジトリ（非JC）に円滑に登録するための支援機能
直接的なOA支援 <ul style="list-style-type: none"><li>APC支援制度の創設、自己資金による維持</li><li>転換契約の拡充</li></ul>	APC支援制度を試行として開始し、OA論文投稿を促す支援制度を自走化するための需要調査を実施

# 全体計画と2024年度の中間報告（2）

全体計画	2024年度の実施内容
人文社会系を中心としたデータ作成・オープンアクセス環境支援 • 所蔵貴重資料の電子化 • 電子化を推進する「電子化ラボ」機器整備と運営	2024年度中に機器と環境の整備を行う  2025年度中に試験運用を行い、 2026年度からの本格運用に向けて準備を進める
学内広報の強化	学内研究者向けの説明動画、パンフレットの作成等を行っている
情報収集	国内、海外の先進的な取り組みを行っている大学と意見交換を行う
OA推進組織の整備/既存業務の効率化	既存業務の省力化、効率化のためのインフラ整備

# 今後の方向性

イノベーションの創出  
社会への還元  
国際競争力の強化

インフラ整備  
学内体制構築  
広報、情報収集

インフラを活用した  
業務効率化、  
継続的なOA体制運用

全学で持続的・安定的な  
OA実施体制確立

既存業務の省力化→OA促進人材の育成

APC支援制度、転換契約推進、論文・データ公開

所蔵貴重資料のデータ化、人文学DX

オープンアクセス推進ユニットによるOA推進体制の展開

OA加速化事業